

私がタイで学んだこと

経営コミュニケーション学科 2年

菅野 勇人(かんの はやと)

私は、8月25日から泰日工業大学サマープロジェクトに参加し、12日間タイへ留学しました。タイは年間を通じて気温が高く、8月から9月は雨が多い時期でした。私はこの留学でタイの文化や風習を学び、新しい自分を発見するという目的を達成しました。留学中に苦労したことは時間感覚の違いです。なぜなら、バスが時間通りに到着しない、集合時間に大幅に遅れるということがありました。タイは日本と比べて、あまり時間に縛りのない国です。タイ人は日本人と比べて、明るく仕事を楽しんでいる雰囲気が見受けられ、メリハリのある仕事観が印象に残っています。私が学んだことを大きく3つにまとめました。

まず、タイは仏教の教えを大切にしている国です。その理由は、タイは宗教に対する意識が高くタイ人のほとんどの人が上座部仏教を信仰しているからです。そのため、あらゆるところに寺院や王宮が見られます。上座部仏教の特徴は、「女性に触れてはいけない」・「食事は正午までに2回摂る」・「托鉢で得たものを食べる」・「男性は出家することが望ましい」などが挙げられ、日本の仏教との違いに魅力を感じました。実際に私もホームステイ先の家族と寺や遺跡を礼拝しながら回りました。アユタヤ遺跡の周辺で象の餌やりと、象の背に乗り、散歩する体験も出来ました。どの寺院も地元の方や観光客で賑わっています。

次に、タイの食文化についてです。タイ人はあまり牛肉を好まず、豚肉や鶏肉を辛く調理した料理がほとんどです。タイ料理にはたくさんの香辛料が欠かせません。私はタイで初めてパクチーを経験しました。あまりの癖の強さにお腹を壊してしまいましたが、次第に味が慣れて、すき好むようになりました。タイでは至る所に屋台があり、そこで夕食の買い出しや、夕食を済ませる伝統的な文化があるようです。また、料理は辛いものの、スイーツやドリンクは非常に甘いものが多いことにタイらしさを感じました。タイの食文化を学ぶことで料理に興味を持つことが出来ました。

最後に、タイの学生たちは私たち日本人を家族のように受け入れてくれました。日本を愛する気持ちが態度で伝わってきます。そのため泰日工業大学との交流でたくさんの人と出会い、友達になることが出来ました。国境を越えて友達を作る感動と素晴らしさを経験し「差別のない国」の実現もそう遠くないと考えます。タイの学生が日本語を必死で勉強する姿を見て、私も語学力の意識と同時に、何か私に手助けできる方法はないかと考えました。その学生とは、今でもSNSを通じて連絡を取り合っています。タイで出来た友達や、日本から共に参加した学生の仲間たちとは、つながりを大切にしていこうと思います。

これからの私の課題は、互いの文化を理解し、価値観の違いとどう向き合っていくのかを考えることです。日本人として日本の歴史や文化を自分の意見で主張できなければいけないと強く感じました。新しい環境の中で貴重な時間を経験出来て嬉しく思います。これ

からもっとタイと日本は友好を築いていけるでしょう。



本人：真ん中

ホストファミリーとアユタヤ遺跡巡り